

山陽小野田市民病院だより

2018年 冬号

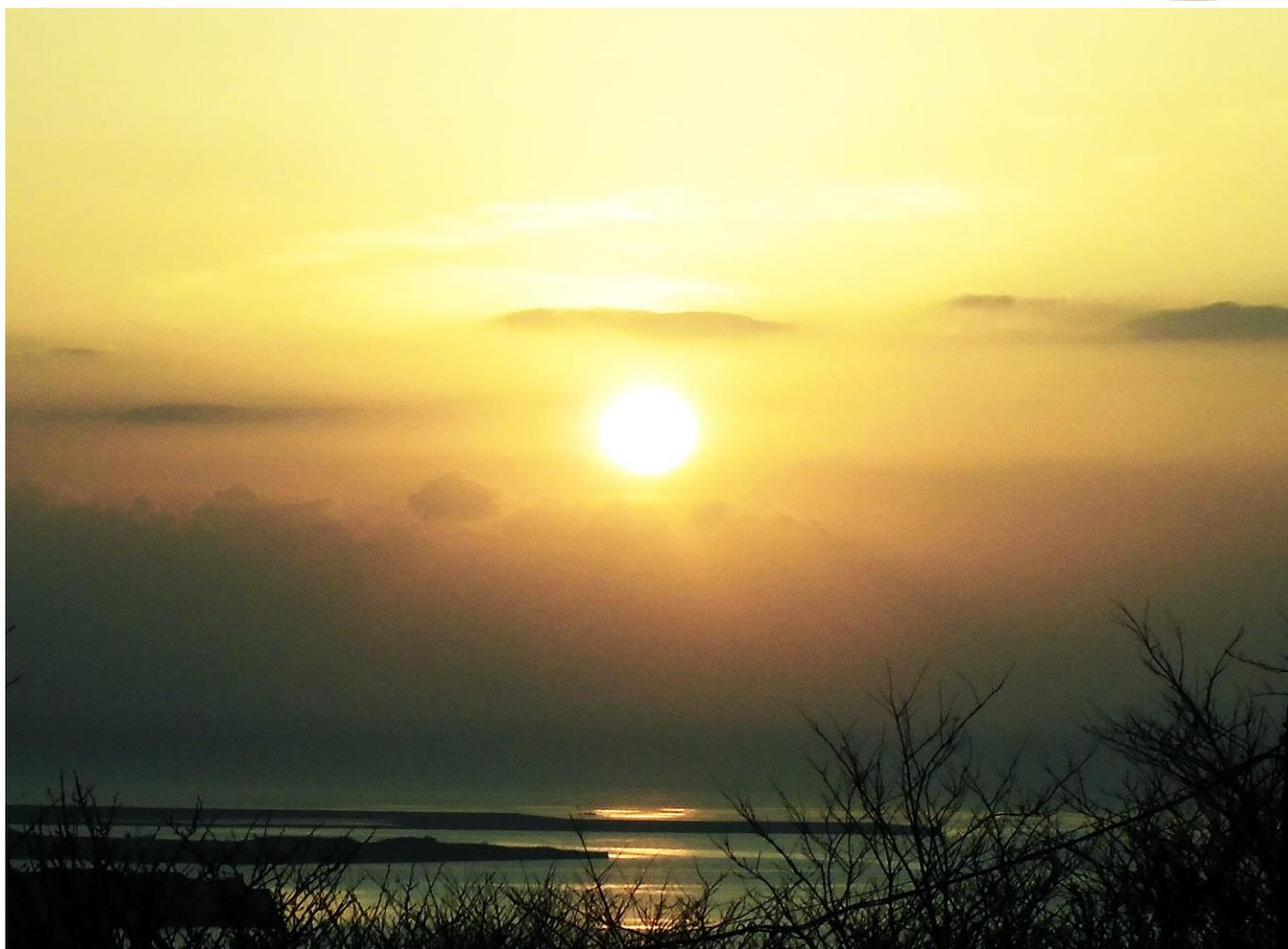
〒756-0094 山陽小野田市東高泊 1863-1

TEL (0836)83-2355 FAX (0836)83-0377

E-mail : med-soumu@city.sanyo-onoda.lg.jp

ホームページ : <http://sanyo-onoda-city-hosp.jp/>

No.10



竜王山からの日の出

病院の理念

誠実

公正

連携

基本方針

親しみやすく、思いやりのある医療を誠実に行ないます。

全人的かつ専門的で、良質な医療を行います。

患者さんの気持ちと権利を尊重し、心温かい療養環境を提供します。

市民病院としての使命を自覚し、患者さんのニーズに適切にお応えします。

保健・医療・福祉・介護の連携を推進します。

新年を迎えて

副院長（外科） 藤岡 顕太郎

新年明けまして

おめでとうございます



私が医師国家試験に合格したのは昭和 59 年ですから、外科医となつて 30 年以上経ちました。この間に医学の進歩は目覚ましいものがあり、外科治療方法は大きく変わってまいりました。

まずは腹腔鏡、胸腔鏡を用いた手術の急速な普及です。最初は胆嚢（たんのう）結石症に対して胆嚢を摘出する手術が腹腔鏡で行われました。その後、様々な手術が腹腔鏡、胸腔鏡を用いて行われるようになりました。当科でも胃癌、大腸癌、急性虫垂炎、



鼠径（そけい）ヘルニア、肺癌、気胸などに対して可能な限り腹腔鏡や胸腔鏡を用いた手術を行っています。腹腔鏡や胸腔鏡を用いた手術の方が手術後の回復が早いと実感しています。

当院では外科のみならず、産婦人科、泌尿器科でも腹腔鏡を用いた手術が行われています。

次に下肢静脈瘤に対する治療方法です。脚の静脈がこぶのように浮き上がった静脈瘤という病気に対しては、私が医師になった当初からストリッピングとって、浮き上がった静脈にワイヤーを挿入して、静脈を引き抜く手術が一般的でした。この手術は現在も一部の患者さんに行われています。2011 年からカテーテルを静脈に挿入して静脈を焼灼し、静脈の血液の流れを止める第一世代の手術機器が保険適応となりました。これにより手術につきものの傷の数が少なく、小さくなりました。2014 年からは改良された第二世代の機器が保険適応となりました。当院では第 2 世代の機器を導入し、治療を行っています。静脈瘤を切除する際、以前は 5 cm 程度切ることもありましたが、現在では 4mm 程度皮膚をこまめに切ることで傷跡をできる限り残さないように手術をしています。

以前は手術の際に切った皮膚の傷を手術後抜糸するまで毎日消毒していました。しかし、今は傷が化膿していない限り、傷に透明なフィルムを貼ったままにしておきます。毎日傷の消毒をされると患者さんはその度に痛みを伴うでしょうが、フィルムを貼ったままだとガーゼ交換の時に傷が痛むことはなくなります。

私が医者になったころ、がん患者さんに決してがんであることを告知せず、潰瘍があるからと言って手術をしていました。学生時代に内科の先生から「君たちは医者になって患者さんから『私はがんでしょうか』と聞かれても、にっこり笑って『がんじゃありませんよ』と言えるくらいの演技をしなくてはならないんだよ」と授業で言われました。しかし、最近ではほとんどのがん患者さんにごんであることを告知し、手術を行っています。ただ告知の方法はご家族と相談し、慎重に行うことも多々あります。

最近抗がん剤の内服や注射を受けてもらうことが随分増えました。そしてよく効く抗がん剤が増えてきました。抗がん剤の効果と副作用を患者さんに説明する必要がありますので、抗がん剤の進歩はがん告知を普及させた大きな要因だと思います。当院では新しい抗がん剤が保険適応となれば、速やかにその薬を投与できる体制を整えています。

以上述べましたように、当院では医療の進歩とともに、標準的な治療を提供できるよう努力しております。どうぞ、今年もよろしくお願ひいたします。



緩和ケアのお話

緩和ケアときくとやはりホスピス・終末期のイメージなのかと思います。

今から50年前の1967年、イギリスでホスピスが開設され、ホスピスの原点が形つくられました。“苦痛を和らげ人間らしく生を全うすることを援助する”という基本姿勢にたつものとなりました。日本では1981年、浜松でホスピスが開設され、緩和ケアの出発となりました。

緩和ケア=Palliative Care は、ラテン語のパリウム (Pallium) に由来しパリウム
=マント『マントで暖かく包み込む』という意味です。

ホスピス=hospice は、ラテン語のホスピティウムに由来し『暖かく迎える』



国民病とも言われている「がん」。日本では生涯に2人に1人がかかる病気といわれています。がんの治療法として代表的なものは、手術療法、化学療法、放射線療法の3つですが、近年、治療と「緩和ケア」を並行して受けることの効果が明らかとなっています。緩和ケアを受けることで、最後まで治療をやりとげることにつながったり、治療の開始が難しい人が治療可能となったりします。「緩和ケア」は「がん」と診断された時から始まります。

緩和ケアはどんな治療？

- * 心や体のつらさを和らげます
- * 向き合う患者さんを支えます
- * 自分らしい生活を送れるようにする医療です

緩和ケアはいつから受けられますか？

- * がんをはじめとした重い病と診断された時から
- * 何らかのつらさ、悩みがある時から受けられます

「緩和ケア」どうしたら受けられる？

がんによる症状、体と心のつらさの程度は人によってちがいます。患者さんが自分のつらさを伝えることで緩和ケアがはじまります。我慢せずに伝えていただくことがとても大切です。

* 当院では昨年9月より緩和ケア外来がはじまっています。なんらかのつらさや悩みを抱えていらっしゃる方は、まずはかかりつけの医師へご相談ください。

* 緩和ケア認定看護師 託見佳代子

助産師出向支援導入事業を実施しました！

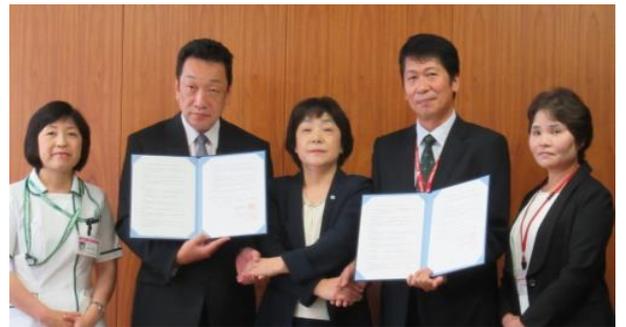
看護部長 藤谷圭子

助産師出向支援導入事業とは？

助産師出向とは、現在の勤務先の身分を有しながら、他施設で助産師として働くことを言います。安心して子どもを産む環境を整えるために、平成 25 年度から厚生労働省がモデル事業として開始し、平成 27 年度に本格的な事業となりました。

山口県で初めて！

出向先施設と出向元施設のマッチングが難しく山口県では行われていませんでした。しかし、平成 29 年 10 月に山口大学医学部附属病院と山陽小野田市民病院との間で助産師出向協定が結ばれ、締結式が行われました。これにより、平成 29 年 11 月に山陽小野田市民病院の吉武助産師が、山口大学医学部附属病院に出向することになり、山口県における「安心して子どもを産む環境を整える」事業の第 1 歩を記しました。



切れ目のない支援と安心して分娩できる環境を！

現在、山口大学医学部附属病院と山陽小野田市民病院では連携体制が整っており、高度な治療が必要な妊婦さんや赤ちゃんは、山口大学医学部附属病院に搬送され、必要な治療や看護を受けられています。その後、山陽小野田市民病院に戻られるケースも多くみられます。この研修出向で習得したことを活かし、病院を変われた後も継続した支援ができること、そして、より安心してお産ができる環境づくりを目指します。



インフォメーション

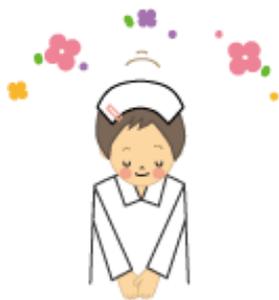
～感染対策室から～

職員対象に、第2回院内感染対策研修会を2017年11月15日(水)に開催しました。今回のテーマは「結核」でした。結核で人口10万人あたりの罹患率を先進国と比べると中まん延国となります。昔の病気とされている方も多いと思います。まだまだ、1日に50人の新しい患者が発生し、5人が命を落とされている重大な感染症です。しかし、薬を飲めば完治できる時代になりました。

～日本と世界の結核をみると～

- 結核患者の高齢化～60才以上の方が70%を占めています。
- 若年層では外国生まれの割合が増加～国際化に伴う、ヒトの往来の増加が一因です。
- 受診の遅れ・患者発見の遅れにより、集団感染が発生しています。

ふだんから健康的な生活を心がけましょう。



病院への受診時、
症状がある場合は
お知らせください。



呼吸器症状

咳・痰がでる
のどが痛い・鼻水

嘔吐

おなかが痛い
嘔吐物に血液が
混じる

下痢

血便・水様便
1日の尿の出が少ない口渇

発熱

ぐったりして意識
がはっきりしない

感染症を疑う症状

発疹

かゆみ・水疱
発赤・熱感

(文責：感染対策室 山本)

中学生職場体験



2017年11月7日と8日の2日間、小野田中学校より2年生2名が職場体験に来られました。医師志望の生徒さんは、河合局長の外来診療に同席し診療の実際を見学、助産師志望の生徒さんは、産婦人科病棟で、新生児ケアの見学や体験を行いました。その他にも、医療技術スタッフのみなさんから各部門の説明を聞いて回るなど、分刻みのスケジュールで2日間の体験を終えました。

当院では、近隣の中学校から職場体験の受け入れを行っており、毎年複数名の中学生が実習に来られます。緊張の面持ちで来院されますが、積極的に質問をしたりメモをとるなどして職場体験に臨まれています。疑似体験や間接体験が多くなっている子供達にとって、直接体験することで、学ぶ事、働く事の意義を理解し、命の尊さを実感してもらえたらと考えます。

終了の挨拶後に、堀川事務部長から「進路の選択肢が広がるように、勉強も部活動も頑張ってください！」

とエールを送られ、元気に帰宅されました。お二人ともお疲れ様でした(#^^#)!!



～除草作業を実施しました～

11月2日（木）、今年度第3回目の患者様用駐車場周辺の除草作業を実施しました。今回も各部門の部長をはじめ、有志の職員約50名が参加しました。日暮れが早く短時間での作業となりましたが、当初の目標以上の範囲を除草することができました。



～避難訓練をしました～

12月4日（月）、6階病棟で火災が発生した想定で避難訓練を行いました。今回は出火場所を事前に明らかにせず、職員が各階のモニターで出火場所を特定して、現場に向かうという現実に即した実施としました。

訓練後の講評では、参加者から多くの反省点や課題が挙がりました。これらを検証・改善し、今後も不測の事態に迅速に対応できるよう努めてまいります。



地域医療連携室

地域医療連携室では、各医療機関から患者様の診療予約・検査予約をお受け致しております。

予約が必要な場合は、診療予約申込書・検査予約申込書をFAXでご連絡ください。折り返し予約票をFAXにてお返事させていただきます。

なお、緊急時の場合には地域医療連携室へ直接電話でご連絡ください。

* 受付時間: 平日 8:30～17:00

* T E L: 0836-83-2355(代)

* F A X: 0836-83-8666(直)

山陽小野田市民病院診療日程表

(平成 30 年 1 月 1 日 現在)

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|----------------------------|--|---------------------------------|--------------|----------------------------|---|----------------------------|
| 内科 | 一 診 | 豊重充広 | 豊重充広 | ☆有好香子 | 豊重充広 | |
| | 二 診 | 時山 裕 | | 時山 裕 | ☆田中真由美 (午前) ☆山崎隆弘 (午後・肝臓外来) | 山口大学医師 |
| | 三 診 | | 安田真弓 | | 時山 裕 | 篠田崇平 |
| | 四 診 | ☆石口博智 (午前) | ☆河村 篤 | 中島朋子 | 安田真弓 | ☆河村 篤 (午前) |
| | 五 診 | 小林正和 | 中島朋子 | 小林正和 | 小林正和 | 中島朋子 |
| 外科 | 一 診 | 大楽耕司 | 藤岡顕太郎 | 大楽耕司 | 藤岡顕太郎 | 藤岡顕太郎 |
| | 二 診 8:30 - 9:00 11:00 - 11:30 午後 13:00 - 17:00 | 藤岡顕太郎 ☆田中俊樹 (呼吸器外科外来) | 大楽耕司 | 野村真治 | 野村真治 | 野村真治 |
| 整形外科 | 一 診 | 脇阪敦彦 | 河合伸也 (新患) | 河合伸也 | 脇阪敦彦 (新患) | 前田 崇 (新患) |
| | 二 診 | 金子 昇 (新患) | 金子 昇 | 脇阪敦彦 | 前田 崇 | 金子 昇 |
| | 三 診 | | 前田 崇 | ☆柿並康太郎 | | |
| 脳神経外科 | 一 診 | 山口大学医師 (紹介・再診のみ) | | ☆岡 史朗 (紹介・再診のみ) | | ☆岡 史朗 (紹介・再診のみ) |
| 小児科 (乳児検診・ 予防接種：予約制) | 午 前 (受付時間) 9:00 - 11:00 | ☆大西佑治 | ☆木村 献 | ☆福田 謙 | ☆水谷 誠 (第 1. 2. 3 週) ☆脇口宏之 (第 4. 5 週) | ☆松重武志 ☆安岡和昭 (交互での診察) |
| | 午 後 (受付時間) 13:30 - 15:30 | ☆古田貴士 ☆長谷川俊史 (交互での診察) | | | | ☆深野玲司 |
| 産婦人科 | 新患・婦人科 | 住浪義則 | 平野恵美子 | 住浪義則 | 村上明弘 | 藤田麻美 |
| | 産 科 | 村上明弘 | 村上明弘 | | 住浪義則 | 住浪義則 |
| | 産 科 | 平野恵美子 | 藤田麻美 | 村上明弘 | 藤田麻美 | 平野恵美子 |
| | 午 後 (予約のみ) | 藤田麻美 14:00 - 16:00 | | | 平野恵美子 14:00 - 15:00 | |
| 皮膚科 | 一 診 | | | ☆浅野伸幸 | | |
| 眼科 | 午 前 | ☆野田 健 | 徳久佳代子 | 徳久佳代子 | | 徳久佳代子 |
| | 午 後 (受付時間) 13:00 - 15:00 | | | | ☆永井智彦 | |
| 耳鼻咽喉科 | 午 後 (受付時間) 14:00 - 16:00 | ☆橋本 誠 | | ☆橋本智子 | ☆田原哲也 (第 1・3) | ☆菅原一真 |
| 泌尿器科 | 一診(新患) | 瀧原博史 | 岡真太郎 | 山口大学医師(午前) または 栗林智枝子 | 北原誠司 | 北原誠司 |
| | 二診(再来) | 岡真太郎 | 北原誠司 | | 瀧原博史 | 岡真太郎 |
| 麻酔科 | 疼痛外来 | 山本智久 | 山本智久 | 清島 隆 | 内田雅人 | 山本智久 |
| | 術前診察 緩和ケア | 清島 隆 | 清島 隆 | 内田雅人 内田雅人 | 清島 隆 | 内田雅人 |
| 歯科口腔外科 (予約優先) | (新患受付時間) 8:30 - 11:00 | 福田てる代 | 福田てる代 | 福田てる代 ☆梅田浩嗣 | 福田てる代 | 福田てる代 |
| | 14:00 - 15:00 | 福田てる代 | 福田てる代 | 福田てる代 (手術患者のみ) | 福田てる代 | 福田てる代 |
| 神経内科 完全紹介予約制 | 午 後 | | | | ☆佐野泰照 | |
| 禁煙外来 完全予約制 | 午 後 | 篠崎文彦 | | | | |

☆非常勤医師